

建設委員会議会報告会報告書

報告日：令和2年1月14日

出席者	参加者	50人	
	議会側	【建設委員】 坪井委員長、岡田副委員長、田坂委員、貞岩委員、加藤委員、重光委員、上田委員 【委員外】 乗越議長、加根議員	
開催日時		令和元年11月12日（火）15：00～16：30	
開催場所		湖畔の里福富ホール	
実施内容報告	議会報告	テーマ	「災害復旧・復興」について
		概要	平成30年7月豪雨における東広島市の被害状況及び対応状況について、パワーポイントを使用して説明を行った。
		質疑応答	
意見交換		<p>5グループに分かれ、ワールドカフェ方式により話し合いを行った。この中で出た主な意見は、次のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共建物の適正化が進められているが、避難所となり得る可能性を考慮して行ってほしい。 ・砂防ダムに堆積している土砂を、予防の意味で撤去することはできないのか。 ・砂防ダムの土砂撤去を要望したが、確認したかも不明である。どのような対応になるのか連絡してほしい。 ・町内の被災状況を知らなかった。この報告会で被災状況や復旧の進捗状況が分かったことは大変良かった。機会があれば別の報告も行ってほしい。 ・災害復旧工事の入札不調の原因が、業者数の不足であれば、行政がもっと業者の育成をすることが必要ではないか。 ・避難情報等を緊急告知ラジオで周知されているが、防災無線など他の周知方法について活用してほしい。 ・災害復旧工事を地域の人が施工して、その費用を市が負担してくれるという方法はとれないのか。 ・いつも工事の完成は遅れる。議員は、議会のチェック機能を働かせて、住民の声を伝えるだけでなく、自ら努力して勉強し 	

		<p>て工夫して市に提案してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路として整備したが、今では交通量が少なくなって不要な道となっている。その道路の法面が何度も崩れ、現在通行止めになっているが、再発しないよういい仕事をしてほしい。 ・災害がどこで発生しているか分からない。避難してくださいと言っても切実なものがないので、避難してもらえない。防災訓練を行っても一部の人が実施しているという感じである。
	要望・提言等	<p>広島県が調査を行っている土砂災害の危険箇所と今回の災害により被災した箇所（県・市）を同一の地図に記入したものを、自治協にいただきたい。</p>
	その他 特記事項	

委員会議会報告会報告書

報告日：令和2年1月14日

出席者	参加者	8人	
	議会側	坪井委員長、岡田副委員長、田坂委員、貞岩委員、加藤委員、重光委員、上田委員	
開催日時		令和元年11月14日（木）15：00～15：40	
開催場所		河内保健福祉センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	「災害復旧・復興」について
		概要	平成30年7月豪雨における東広島市の被害状況及び対応状況について、パワーポイントを使用して説明を行った。
	質疑応答	外に出ていた時には、緊急告知ラジオが使えないがどうしたらよいかとの質問があり、携帯電話の防災メールや緊急速報メールを活用していただきたいと回答した。	
	意見交換	ワールドカフェ方式による意見交換を予定していたが、参加者が少ない上、その大半が市や社会福祉協議会の関係者であったため、意見交換については中止した。	
要望・提言等			
その他特記事項			